



加々見保樹議員

大規模災害医療 救護総合訓練実 施の考えは

どの範囲までできるか、訓練が有効か等、検討する

質問：大規模災害時の医療救護所を、予め何カ所か設置しておく必要があるか、検討する。

住民福祉課長：地域防災計画で、救護所は保健センターと定めている。複数設置することは、対応できる人材がいるかを考え、検討する。

質問：病院、医師会、看護協会、薬剤師会等あらゆるスタッフでの総合訓練を、最低年一回は行う必要があるのでは。

町長：現在、高原病院

主体で救護訓練を実施。他の組織も巻き込んだ訓練は検討されなかった。有益な意見として検討する。

質問：諏訪地域災害医療対策委員会作成のマニュアルでは、医師不在の場合、救急救命士、救急隊員のトリアージは「緊急避難」として認められるとしているが。

消防課長：広域の大規模救助訓練で行っている。多数の負傷者に全救急隊員が対応できるかは疑問だが、知識はあると考えている。

富士見町名誉町民 条例について

質問：条例制定後30年近く経つが、未だに名誉町民がいらないが。

町長：世界的に活躍された方、オリンピック選手等への表彰目的で制定したが、該当者が出ていない。茅野、原ではオリンピック選手が出て、名誉市民・村民になっている。

質問：条例には「オリンピック選手」とは書かれていない。茅野、原でオリンピック選手が名誉市民・村民になった事実はない。町長、職員は条例の存在を知らないか、忘れていたのでは。

町長：私も担当者も知らなかった。不見識な答弁を深くお詫びする。

副町長：町制30周年記念事業で制定した。当時該当者はいなかった。

食物アレルギー対策 について

質問：アレルギーを持つ子供に対する学校での人権への配慮は。

教育長：学校では除去食等に対応していることを生徒に知らせ、人権が阻害されないよう担任が配慮。保育園では通常の給食に近い代替食で対応し、楽しい時間が共有できるようにしている。

□その他の質問
*住民参加型の予算について



名取武一議員

塚平の三菱用地 の動向は

プロस्पекティブ ホールディングス(株)が メガソーラー事業 を計画

質問：塚平の三菱マテリアル用地の動向は。

町長：プロस्पекティブが、三菱マテリアルより土地を買い、ダイワハウスが設備を作って、メガソーラー事業を行うという計画があり、3社の社長があいさつに来た。

質問：具体化前に、地元や町民に説明機会を。

町長：プロस्पекティブはベンチャー企業で、事業を20年継続できるか不安。三菱が後ろ盾になつてほしいと伝えた。また、

大雨時の安全性の問題もある。これらを再検討し、三菱がバックについて、どうしても進めたいということになれば、次のハードルは住民説明会である旨、合意している。

三元代表制について

質問：先の議長選において、町長から2人の新人議員に対し、干渉もいえる電話などがあつたと聞いている。町長は議会の人事問題に関与すべきではないと考えるが。

町長：経験が少ない新人より、経験のある方がいい」と思い、その旨を申し上げた。町のためを思って言ったことで、普段から行っている意見交換と理解している。

高齢者クラブについて

質問：町は「高齢者交流の場づくり事業」として、高齢者クラブも地区社協もない地区を対象

に、町の包括支援センターに委託して高齢者の「交流の場」を開き、高齢者組織の復活を期している。「楽しかった」とすべての参加者に好評であった。このように人的支援を加えるべきでは。

町長：良い実証事例だと思う。十分に分析し、検討したい。

中学生の死亡事故について

質問：公表まで数日しかつた理由は。

町長：事故から共同記者会見まで5日を要したが、事実関係の確認作業、茅野署の事情聴取、県教委、南信教育事務所、校長、教職員、教育委員会との対応協議等々、精一杯やった結果。

今後の方針は。

教育長：一人の尊厳命が失われた事実を重く受け止めている。真相の究明に全力を挙げるのが私の責務。